※令和３年度以前入学生用
　２　地理歴史・公民

学校番号	3033

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	新編詳解地理Ｂ　（二宮書店）　詳解現代地図　（二宮書店）						
副教材等	最新地理図表ＧＥＯ五訂版（第一学習社）、ウイニングコンパス地理の整理と演習（東京法令出版）、統計要覧（二宮書店）						

担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理的事象に「なぜ」の視点を持ち、単なる暗記に終始しない。
・地域空間の特性を背景とした世界の国の諸事情を考える。
・現在やこれからの日本の在り方も考える。

学習の到達目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に，現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し，現代世界の地理的認識を養うとともに，地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的事象を系統地理的，また地誌的に考察し，それに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生きるための責任を果たそうとしたか。	現代世界の地理的事象から課題を見い出し，それを系統地理的に，また歴史的背景を踏まえて地誌的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえて公正に判断しようとしたか。	地図や統計，画像等の地域に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択・活用することを通して，地理情報や地図の活用に関する技能を身につけたか。	地図の活用に関する地理的技能を身につけたか。現代世界の諸事象を系統地理的に、地誌的に考察する方法を身につけ、地理的認識や地理的な見方・考え方を理解し身につけたか。
主たる評価方法	教室における授業の取り組み状況や発言等 書き込み地図や白地図，プリント等の作業状況と作業結果。レポート	定期考査 教室における授業の取り組み状況や発言等、書き込み地図や白地図，プリント等の作業状況と作業結果。レポート	定期考査 教室における授業の取り組み状況や発言等、書き込み地図や白地図，プリント等の作業状況と作業結果。レポート	定期考査 教室における授業の取り組み状況や発言等、書き込み地図や白地図，プリント等の作業状況と作業結果。レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

※令和３年度以前入学生用

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	地理情報と地図	世界観の変化と地図 地球儀と世界地図 地理情報の地図化	 ○ ○	○ 	○ ○ ○		a.地図や画像等の地理情報とその加工、世界地図に関して関心と課題意識を高め積極的に理解しようとしたか。 b.理情報の地図化に関して，地理的な追究・考察における有用性を考察したか。 c.世界地図の種類と利用、地理情報を課題に適応して地図化する方法を身につけたか。 d.世界地図の利用について、また地理情報の地図化について適切な利用方法を理解し，その知識を身につけたか。	定期考査、提出物、授業中の取り組み
	地図と地域調査	地図の活用 身近な地域の調査	○ 	 ○	○ ○		a.地図の種類と利用や地域調査に関する関心と特色を捉える視点や方法を身につけようとしたか。 b.地図の種類と利用に関して追究・考察における有用性を考察し、生活圏の地域的特色を捉える視点や方法を考察したか。 c.地図の種類と利用に関して適した地図の活用方法を身につけ、生活圏規模の地域的特色について，追究・考察したか。 d.地図の利用と種類について有用性を理解しその知識を身につけたか。生活圏地域の特色を捉える視点や方法を理解し，知識を身につけたか。	定期考査、提出物、授業中の取り組み
	自然環境	地形 気候 自然と生活 自然環境に関する諸問題	 ○ ○	○ ○ ○	 ○ 	○ ○ 	a.世界の自然環境に関する地域性や規則性、形成要因に関する関心と課題意識を高め、人間生活とのかかわりを積極的に理解しようとしたか。 b.世界の自然環境の分布やその形成要因に着目し，自然環境の悪化や破壊等の問題について，世界的視野に留意して考察できたか。 c.自然環境の分布について分析する技能を身につけ、分布図，グラフ等で表現する技能を身につけ、地形図の読図に関する技能を身につけたか。 d.世界の自然環境の規則性，傾向性，その形成要因等を捉え、基礎的・基本的知識や概念を習得し、環境の悪化や破壊等について理解できたか。	定期考査、提出物、授業中の取り組み

※令和３年度以前入学生用

	資源と産業	農林水産業 資源・エネルギー 工業 流通と消費	 ○ ○	○ 	 ○ ○	○ ○ ○ 	a.世界の資源と産業等に関する地域性や規則性，形成要因、現代世界の問題に関する関心と課題意識を高め視点や方法を身につけようとしたか。 b.世界の資源と産業等に関する分布や形成要因に着目し，現代世界の問題についてその傾向と形成要因を考察できたか。 c.世界の資源と産業等に関する分布図や統計資料を活用する技能や，分布図，グラフで分布の特色について分析する技能を身につけたか。 d.世界の資源と産業等の空間的な規則性，傾向性，形成要因、およびそれに関する現代世界の問題等を捉える視点や方法を身につけたか。	定期考査、提出物、授業中の取り組み
	人口と村落・都市	人口 村落・都市		○ 	○ ○	 ○	a.世界の人口と村落・都市の分布や動向，形成要因に関する関心と課題意識を高め、世界的視野から捉える視点や方法を身につけたか。 b.世界の人口と村落・都市に関する分布や形成要因，現代世界にみられる問題について，それらと人間生活とのかかわりについて考察したか。 c.世界の人口と村落・都市に関する分布図や統計資料を分析し考察する技能、分布図，グラフ等で表現する技能を身につけたか。 d.世界の人口と村落・都市の分布の基礎的・基本的な知識や概念を習得し、世界的視野からみた地域性や形成要因を理解できたか。	定期考査、提出物、授業中の取り組み
２学期	生活文化と民族・宗教	衣食住 言語と宗教 民族と国家	○ ○	 ○ 	○ 	 ○ ○	a.世界の生活文化と民族・宗教の地域性や形成要因、現代世界の問題に関する関心を高め、世界的視野から捉える方法を身につけようとしたか。 b.世界の生活文化と民族・宗教に関する分布やその要因を系統地理的に考察したか。どのような形成要因があるかを考察できたか。 c.世界の生活文化と民族・宗教に関する分布図や統計資料を活用し，分布図，グラフ等分布や動向等を分析し考察する技能を身につけたか。 d.世界の生活文化と民族・宗教の分布や動向の基礎的な知識や概念を習得できたか。日本の領土問題について理解を深めることができたか。	定期考査、提出物、授業中の取り組み
	現代世界		○	○			a.○地域を区分する方法，地域の概念，地域区分の意義に関する関心と課題意識を高めたか。 b.地域区分の意義を理解・考察する過程で，地域区分の視点や方法，有用性を考察できたか。	定期考査、提出物、授業中の取り組み

※令和３年度以前入学生用

	の地域区分						c.多様な指標を使って，具体的に地域区分を行い，様々な地域に区分する技能を身につけたか。 d.地域区分の学習を通し，世界の多様性・多面性を理解し、基礎的知識や概念を習得できたか。	
	現代世界の諸地域	中国 韓国 東南アジア インド 西アジア中央アジア アフリカ ＥＵ ドイツとポーランド ロシア アメリカ ブラジル オーストラリアとカナダ	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a.地域的特色や地球的課題に関心と課題意識を高め、項目ごとに整理して考察，特色ある事象とほかの事象を考察，二つの地域を比較して考察、などの考察方法を積極的に理解しようとしたか。 b.世界の地域的特色や地球的課題を地誌的に捉える視点や方法を考察したか。歴史的背景を踏まえて，多面的多角的に地域の変容を考察したか。 c.世界の地域的特色や地球的課題を地誌的に考察する過程で地図や統計，画像など資料から的確に地理的事象を読み取ったり，地域の変容を考察し説明・論述・討論する技能を身につけたか。 d.世界の地域的特色や地球的課題を地誌的に捉える知識を身につけ、歴史的背景を踏まえて多面的に地域の変容を考察する過程や結果の学習を通して理解できたか。	定期考査、提出物、授業中の取り組み
３学期	現代世界と日本	世界の中の日本 持続可能な社会に向けて	○ ○	○ ○			a.日本がかかえる地理的な諸課題を積極的に関心と課題意識を高め、解決の方向性や将来の国土のあり方等について積極的に展望しようとしたか。 b.日本の国土の特色について客観的に考察し、日本の地理的諸課題について，主体的にその形成要因を考察し、あるべき国土像を見い出したか。 c.日本の国土の特色について主体的に課題を設定し，情報を収集して整理・分析を行い，それらを文章化や地図化できたか。 d.日本の国土の特色を，国や個人といった多層な視点から客観的に理解し、日本の地理的な諸課題を理解し知識を身につけたか。	定期考査、提出物、授業中の取り組み

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。